

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)

【公開番号】特開 2001-146006 (P2001-146006A)  
 【公開日】平成 13 年 5 月 29 日 (2001.5.29)  
 【出願番号】特願 平 11-330024  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

**B 4 1 J 3/60 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 J 3/00 S

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 11 月 10 日 (2006.11.10)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体の両面に画像を形成するインクジェット方式画像形成装置において、

記録媒体の両面のうちの一方の面とは反対側の他方の面に設定された所定の画像領域の基準になる基準画像を、前記一方の面に設定された所定の画像領域から 外れた位置に形成する基準画像形成手段と、

前記他方の面に画像を形成するに先立って前記基準画像を検知して該他方の面の前記所定の画像領域を設定させる基準画像検知手段とを備えたことを特徴とするインクジェット方式画像形成装置。

【請求項 2】 インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体の両面に画像を形成するインクジェット方式画像形成装置において、

記録媒体の両面のうちの一方の面とは反対側の他方の面に設定された所定の画像領域の基準になる基準画像を、前記一方の面に設定された所定の画像領域から 外れた位置に形成すると共に、前記一方の面に画像を形成する第 1 ユニットと、

該第 1 ユニットによって前記一方の面に画像が形成された記録媒体の前記他方の面に画像を形成する第 2 ユニットと、

前記第 2 ユニットを用いて前記他方の面に画像を形成するに先立って前記基準画像を検知して該他方の面の前記所定の画像領域を設定させる基準画像検知手段とを備えたことを特徴とするインクジェット方式画像形成装置。

【請求項 3】 前記第 1 ユニットと前記第 2 ユニットの間に形成された記録媒体の弛みを検知する弛み検知センサと、

該弛み検知センサで検知された弛みが所定の範囲内になるように制御する制御手段とを備えたことを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】 インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体に画像を形成し、さらにこの画像の形成された画像面に重ねて画像を形成するインクジェット方式画像形成装置において、

前記画像面に設定された所定の画像領域の基準になる基準画像を、該所定の画像領域か

ら外れた位置に形成する基準画像形成手段と、

前記画像面に重ねて画像を形成するに先立って前記基準画像を検知して該画像面の前記所定の画像領域を設定させる基準画像検知手段とを備えたことを特徴とするインクジェット方式画像形成装置。

【請求項5】 インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体の両面に画像を形成するインクジェット方式画像形成方法において、

記録媒体の両面のうちの一方の面とは反対側の他方の面に設定された所定の画像領域の基準になる基準画像を、前記一方の面に設定された所定の画像領域から外れた位置に形成しておき、

前記他方の面に画像を形成するに先立って前記基準画像を検知して該他方の面の前記所定の画像領域を設定することを特徴とするインクジェット方式画像形成方法。

【請求項6】 インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体に画像を形成し、さらにこの画像の形成された画像面に画像を重ねて形成するインクジェット方式画像形成方法において、

前記画像面に設定された所定の画像領域から外れた位置に該所定の画像領域の基準になる基準画像を形成しておき、

前記画像面に画像を重ねて形成するに先立って前記基準画像を検知して該画像面の前記所定の画像領域を設定することを特徴とするインクジェット方式画像形成方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明の第1のインクジェット方式画像形成装置は、インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体の両面に画像を形成するインクジェット方式画像形成装置において、

(1) 記録媒体の両面のうちの一方の面とは反対側の他方の面に設定された所定の画像領域の基準になる基準画像を、前記一方の面に設定された所定の画像領域から外れた位置に形成する基準画像形成手段と、

(2) 前記他方の面に画像を形成するに先立って前記基準画像を検知して該他方の面の前記所定の画像領域を設定させる基準画像検知手段とを備えたことを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、上記目的を達成するための本発明の第2のインクジェット方式画像形成装置は、インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体の両面に画像を形成するインクジェット方式画像形成装置において、

(3) 記録媒体の両面のうちの一方の面とは反対側の他方の面に設定された所定の画像領域の基準になる基準画像を、前記一方の面に設定された所定の画像領域から外れた位置に形成すると共に、前記一方の面に画像を形成する第1ユニットと、

(4) 該第1ユニットによって前記一方の面に画像が形成された記録媒体の前記他方の面に画像を形成する第2ユニットと、

( 5 ) 前記第 2 ユニットを用いて前記他方の面に画像を形成するに先立って前記基準画像を検知して該他方の面の前記所定の画像領域を設定させる基準画像検知手段とを備えたことを特徴とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

また、上記目的を達成するための本発明の第 3 のインクジェット方式画像形成装置は、インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体に画像を形成し、さらにこの画像の形成された画像面に重ねて画像を形成するインクジェット方式画像形成装置において、

( 8 ) 前記画像面に設定された所定の画像領域の基準になる基準画像を、該所定の画像領域から外れた位置に形成する基準画像形成手段と、

( 9 ) 前記画像面に重ねて画像を形成するに先立って前記基準画像を検知して該画像面の前記所定の画像領域を設定させる基準画像検知手段とを備えたことを特徴とするものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

また、上記目的を達成するための本発明の第 1 のインクジェット方式画像形成方法は、インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体の両面に画像を形成するインクジェット方式画像形成方法において、

( 1 0 ) 記録媒体の両面のうちの一方の面とは反対側の他方の面に設定された所定の画像領域の基準になる基準画像を、前記一方の面に設定された所定の画像領域から外れた位置に形成しておき、

( 1 1 ) 前記他方の面に画像を形成するに先立って前記基準画像を検知して該他方の面の前記所定の画像領域を設定することを特徴とするものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

また、上記目的を達成するための本発明の第 2 のインクジェット方式画像形成方法は、インクを吐出する印字ヘッドを所定の主走査方向に走査させながら該印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体に画像を形成し、さらにこの画像の形成された画像面に画像を重ねて形成するインクジェット方式画像形成方法において、

( 1 2 ) 前記画像面に設定された所定の画像領域から外れた位置に該所定の画像領域の基準になる基準画像を形成しておき、

( 1 3 ) 前記画像面に画像を重ねて形成するに先立って前記基準画像を検知して該画像面の前記所定の画像領域を設定することを特徴とするものである。